

製品名: MPO ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14056**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	85kDa

抗原情報

遺伝子名	MPO
別名	MPO; Myeloperoxidase; MPO
遺伝子 ID	4353.0
SwissProt ID	P05164
免疫原	抗血清はヒト MPO の N 末端領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 41-90

背景

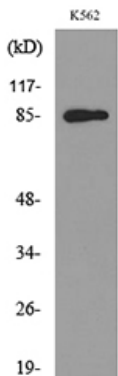
ミエロペルオキシダーゼ (MPO) は、骨髄細胞分化の過程で合成されるヘムタンパク質であり、好中球のアズール顆粒の主成分を構

成しています。一本鎖の前駆体として産生されたミエロペルオキシダーゼは、その後、軽鎖と重鎖に切断されます。成熟したミエロペルオキシダーゼは、2本の軽鎖と2本の重鎖からなる四量体です。この酵素は、好中球の殺菌活性において中心的な役割を果たす次亜ハロゲン酸を産生します。 [RefSeq 提供、2014年11月],触媒活性: $\text{Cl}(-) + \text{H}(2)\text{O}(2) = \text{HOCl} + 2 \text{H}(2)\text{O}$,触媒活性: 供与体 + $\text{H}(2)\text{O}(2) = \text{酸化供与体} + 2 \text{H}(2)\text{O}$,補因子: ヘテロ二量体あたり1つのカルシウムイオンと結合します。 ,補因子: ヘテロ二量体あたり1つのヘム B (鉄プロトポルフィリン IX) 基と共有結合します。 ,疾患: MPO の欠陥は、ミエロペルオキシダーゼ欠損症 (MPD) [MIM:254600]の原因です。 MPD は、播種性カンジダ症を引き起こす常染色体劣性欠陥です。 ,機能: 多形核白血球の宿主防御システムの一部であり、幅広い微生物に対する殺菌活性を担っています。 刺激を受けた PMN において、MPO は次亜ハロゲン酸 (主に生理的条件下では次亜塩素酸) および PMN の殺菌活性を大幅に高めるその他の毒性中間体の生成を触媒します。 ,オンライン情報: MPO 変異データベース、オンライン情報: ミエロペルオキシダーゼエントリ、類似性: ペルオキシダーゼファミリーに属します。 XPO サブファミリー。 ,サブユニット: 2つの軽鎖と2つの重鎖からなる四量体。 ,

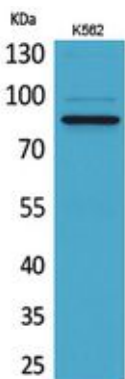
研究分野

免疫学

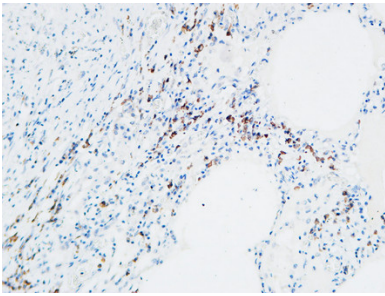
画像データ



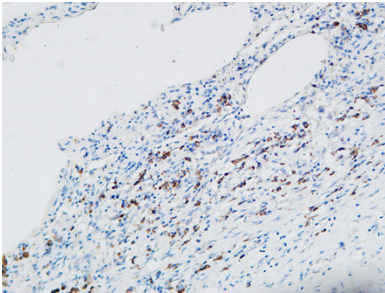
MPO 抗体を使用した K562 細胞の溶解物のウェスタン ブロット分析。



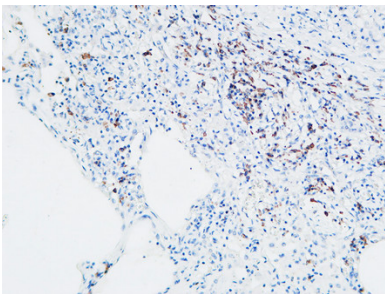
MPO ポリクローナル抗体を用いた K562 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。



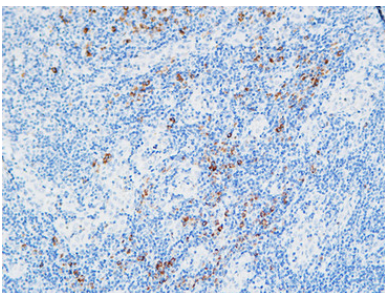
パラフィン包埋ヒト肺の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:100 に希釈 (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用して抗原賦活化。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30分)。



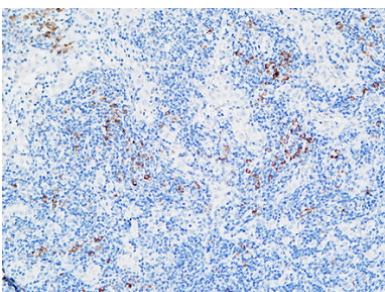
パラフィン包埋ヒト肺の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:100 に希釈 (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用して抗原賦活化。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30分)。



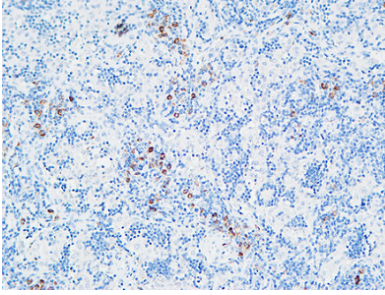
パラフィン包埋ヒト肺の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:100 に希釈 (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用して抗原賦活化。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30分)。



パラフィン包埋ヒトリンパ腫の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:100 に希釈した (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用して抗原賦活化した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30分)。



パラフィン包埋ヒトリンパ腫の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:100 に希釈した (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用して抗原賦活化した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30分)。



パラフィン包埋ヒトリンパ腫の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:100 に希釈した (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用して抗原賦活化した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30 分)。